



# 森ボラ 通信

第 37 号 2005 年 6 月 20 日発行  
北海道森林ボランティア協会  
札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/

## ■トピックス

### ◆野幌&神宮作業スタート◆

今月より、新しい現場の作業がいよいよスタートしました。これまでの現場とは活動趣旨も異なり、それぞれに特色ある現場となりそうです。現況と今後の作業手順をご紹介します。

皆さんお馴染みの野幌森林公園は、先般の台風 18 号で約 5% (71ha) が被害を受けました。この地で今後、国・道・市民協働の森林再生事業が展開されます。この度の公募で 12 の市民団体が再生事業に応募、約 12ha の森づくりを市民の手で行うことになりました。私達は、公園のほぼ真中に位置する 1.85ha の大きなギャップ地の地拵えから育林までを手がけます。

ここで特記すべきは「地拵え」です。本来国有林側で行う予定でしたが、申し入れが認められ、当会のみ地拵えから任されることになりました。植林後 50 年以上経た大きなトドマツの根株が彼方此方に横たわっています。重機を入れず、チェーンソーと刈払機と人力のみの重労働ですが、重機で整地した他地との違いがどう出るのか、大変興味深い実験ともいえます。植栽の樹種も実施団体に任されています。私達の思いが形になる場所です。

- ・ 畝幅 3m の人工植栽部と残し幅 7m の天然更新部に地拵え  
東西方向に整地＝被害木はおおむね北方向に倒伏  
大きな根株はそのまま残す＝根株の周囲は育ちが良い
- ・ 10 月頃植林  
1000～1500 本/ha、5：5 の針広混植
- ・ 下刈は来年度 2 回程度



畝巾 3m。気分は開拓者。

北海道神宮については、当面「境内林苑の整理と緑化」の方向で以下の作業内容を実施します。境内に 2 ヶ所の苗畑を確保されました。1 ヶ所は地拵えが済み、境内に自生の樹木を養生しています。良い結果が出れば野幌の苗木も自前調達できるかもしれません。苗木生産の夢も広がります。

1. 前域林、前内域林、前側域林、前外圍林を主に整理する
2. 苗畑づくりを行う（次年度への移植と種蒔きを 6 月下旬より実施する）
3. 秋には移植若苗木の植樹を実施する
4. 整理内訳
  - ・ 枯木、枯枝の切取り、整備と清掃
  - ・ 枯損木の伐採
  - ・ 風雪害木の処理、一部病虫害木含む
  - ・ 植樹祭後の若木類に添木
  - ・ 実生、若苗木類の移植（A、B の苗畑へ）
  - ・ 年 2 回程度雑草下刈りの実施（7 月、10 月）
  - ・ ゴミ清掃
  - ・ 一部移植と伐採
5. 神宮の意見および要望により実施する



壁谷神主より説明を受ける

## ◆有明植樹 with 二青会◆



ミズナラ 36本・ハルニレ 36本・イタヤ 31本の合計  
103本と記念樹の大きなエゾヤマザクラ 1本を植樹

5月27日。参加12名。午前は当会の作業で分担区域の植樹を完了。二青会植樹の下準備をこなしました。二青会から13人の参加者は午後からの植樹作業でしたが、さすが土木屋さんの社長さん達でした。穴掘り機の操作なんぞはお手の物でみるみる片付けました。予定より少し早めに場所を札幌市のふれあいの森に移動しまして、懇親会となりました。炭火焼です。ここでもさすが土木屋さんでした。海鮮珍味のあばれ食いでした。殻付きホタテ、カキをはじめとして、エビ、カニ、イカ、それに肉類もたっぷりありまして、全部をたべきれずにかなり余っておりました。アルコール類も車の運転で飲めない人が多かったので、余ってしまいまして、お持ち帰りとして頂戴いたしました。なお、札幌市から三輪氏が植樹に参加されていたことも嬉しい出来事でした。

## ◆札幌市森林活動ボランティア会議◆

5月24日。札幌市みどりの推進部会議室において登録された11団体が集まり、新任担当者の紹介と意見発表が行われました。当協会から高野、加治2名が出席、又、山岸さんも参加されて各団体の意見を熱心にメモしてました。

注目されたことは、担当者より森林関係のアドバイザー派遣の問いに対し、誰も要請せず3団体が会員の中に技術も知識もある人材がいるので不要と断っていたことです。又、この会議の共通意見として除・間伐材と倒木の搬出利用の願い出が殆どの団体から発言されました。国や道が間伐材の有効利用を叫んでいるのに、市は凍結しているとか、ある団体は公売にすれば特定にならず問題なしとの方法論も出ました。我が協会高野さんも本州では生産集積して競売している実例を発表すると、市側も高い興味を示し、その実例団体と詳しい内容を問い質した程でした。

次に担当者から民有林での活動を広めてはとの質問に、ある団体がウッディーズの活動範囲で入れないと答えがあり、私も民有林所有者は殆ど森林組合の組合員であることから、傘下の特定業者・特定団体に固定されている旨補足説明しておきました。全体として、間伐・倒木処理で資金不足を補いたいという深刻な意見が多数出ました。(加治)

## ◆オイスカ植樹祭◆

5月21日(土)、道民の森・青山中央でのオイスカ植樹祭に参加しました。当会の参加者6名、約300本の植樹を手伝い、無事終了。午後2時半には解散しました。植樹の最後には、年齢各層代表による記念碑が建立されました。アトラクションとして北海道大学少林寺空手部員による空手の基本形演技が披露されました。

近くの蝦夷松林には青サギの巣があり、既に巣立ちが完了したとの事。巣は35ヶと言ってました。地面には沢山の脱殻が落ちていました。脱殻が散乱している一帯はカタクリと名前のわからない花の群落となっていました。(西野悌)



二輪草?

## ◆軽トラ愛称決定◆

圧倒的多数で決まりました。「キャリコ」と呼んでください。

【人気投票結果】

キャリコ 16  
キリン 3  
コロポックル 1  
コタンコロカムイ 1



## ◆トイレ登場◆

トイレ用テントを購入しました。180cmを超す長身のテント内は、楽々着替えもできる快適なスペースです。テント内に穴を掘り、事後土をかけるスタイルです。ペーパーは各自持ち帰りをお願いします。作業の度に設置しますので、女性も安心してご参加ください。

## ■今月の幹事会

6月13日（月）定例幹事会には新幹事として、杉本、山中の2氏が加わりました。

### 1 新しい仕事の情報

- ① 積丹町対応：町側から期待される要望に応じられるかどうかを検討するために、現状把握をする目的で、調査チームを編成し派遣します。派遣日程については7月中を目途に町と調整します。
- ② 当協会理事長より要望されれば、北大台風被害修復植樹についての取組みを前向きに検討します。ハルニレの植木の手当てについての情報収集をお願いします。
- ③ アイケン工業株式会社有林の森林施業支援を検討します。

### 2 野幌森林公園対応

- ① 地拵えは管理局の予想を上回る進行で、3回の入林で半分を消化。あと3回の作業で終わる見通しなので、秋植えが可能になります。担当者を決めて苗の手当ての検討をつけます。
- ② 地拵えしない7m残し部分に積極的に郷土樹種の種蒔をします。種の採取可能なハルニレ、エゾヤマザクラ、ミズナラ等。播種の範囲を広げるようにボサの処理も手がけます。

### 3 入林交通費の補填支払い

- ① 7月1日例会時に、集計出来ている部分を支払いします。
- ② 作業進行部分については、集計出来次第後日支払いとなります。

4 有明第二7月作業：看板の移動。植樹記念標識設置。草刈。地掻き。

5 澄川7月作業：不法投棄ゴミ拾い。間伐材の整理。

6 林内移動式トイレを装備しました。次回の西野第二で初共用いたします。

7 リンゴ園摘果作業参加オープン化。

出席幹事：加治、酒井、芝、柴田、杉本、西野、山中、高野

## ■お知らせ

### ◆会員例会開催

以下のとおり開催します。当日後半は、2年間のJICA派遣期間を終え帰国されたばかりの西野さんによるインドネシア報告会が行われます。奮ってご参加ください。

【日時】7月1日（金）午前9時30分

【会場】エルプラザ 大研修室C  
札幌市北区北8条西3丁目

※当日は入林交通費の支払いも行います。

### ◆リンゴ園参加

リンゴ園については、チーム編成での支援を開始しましたが、自由な雰囲気での参加スタイルに戻して欲しいとの声が相次ぎ、今回より以前の形に戻します。参加自由ですので、しばらく離れていた会員も久しぶりに足を運んでみてください。今は摘果の真っ最中です。

### ◆羊蹄山登山企画

登山月日：平成17年7月19日（火）当日登頂～下山（前日・当日2泊）

登山コース：羊蹄山（標高1898m）真狩コース（標高差1450m）

歩行時間：標準体力、登り4時間40分、下り3時間30分（大休息抜き）

当会予定時間：登り6時間10分、頂上で20分、下り4時間30分、計11時間（休憩時間含む）

行程：7/18（月）真狩村羊蹄山自然公園でキャンプ。16時までキャンプ場に集合

7/19（火）朝5時出発登山開始～下山夕方4時登山口着、温泉旅館泊

7/20（水）解散帰路（復路の企画は宿で協議）

交通機関：自家用車乗合、費用は同乗者間で清算

費用：全て自己負担の都度清算払い。食料・飲料は各自調達持参

健康管理：登山中の傷病は自己責任、健康時様態と体力を自覚の上参加してください。

参加申込先：リーダー山中司（011-764-1646）サブリーダー加治豊実（011-881-8668）まで

申込締切：6月30日まで（宿泊可否を明確におねがいします）

追記：①7/19日帰りも可

②参加者には装備・注意事項を通知

③雨天中止、18日AMに山中・加治より連絡

### ◆ゴルフ場業務収支報告

収入	2,519,020
支出	
植木代	1,491,125
資材等	275,491
役務代	366,000
交通費	61,500
振込手数料	682
事務経費	324,222
計	2,519,020

### ◆北都システム株式会社 「ITで森を広げよう」キャンペーン 始まる

6月15日。かねてより相談を受けておりました北都システム(株)より、初回の基金3000円が届けられました。初めての試みだけに今後の展開を予測できませんが、有り難い応援をいただくことになるでしょう。社内募金も進行中とうけたまわりました。ありがとうございます。

### ■活動履歴

活動日	活動場所	参加人数	活動内容
6/20	フクロウの森	15	草刈。2年前植えた木は概ね育っています。森の中にはハルニレが目立ちました。2mの苗8本に根回しを施し、秋に移植の予定です。
6/16-17	西野	17/14	風倒木整理。真夏の陽気で汗だくの作業。でも目に見えて片付く林内に清々しさが込み上げます。
6/11	野幌	19	地拵え
6/8	野幌	20	地拵え
6/6-7	神宮	16/11	苗畑づくり・林内整理
6/3	野幌	23	地拵え
6/1	西野	14	風倒木整理
5/28	神宮	23	境内観察
5/27	有明	12	二青会との植樹
5/24	有明	11	地拵え・植え穴場所確定
5/23	澄川	13	本伏せ作業。ほだ木冬囲いを解きますとシイタケが発生しており、早速収穫しました。新しいシイタケほだ木30本を幌南小学校の教材として採材し提供しました。
5/21	道民の森	6	オイスカ植樹会。
5/20	フクロウの森	9	学生支援

### ■ひとこま



#### リンゴ園にクマゲラ現る！！

6月14日PM2時ごろ、摘果作業中、山原さんが激写しました。望遠ではありません。3mの至近距離です。左の車で大きさと止まった位置がわかります。去年、向いの林に大きな穴をあけた犯人だと思われます。これだから札幌って素敵です。人と自然が実にうまく調和しています。